

# ビレットスーパーオイルポンプキット 取扱説明書

製品番号 01-16-0002

適応車種	12V モンキー (FI 含む)、ゴリラ
	CRF50F
	XR50R
	12V DAX
	MAGNA50
	12V CD90
	上記車種に弊社適合 SPL クラッチ装着車

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
 使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
 万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆正しく安全にご使用頂くために☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品は、取り付け時に R クランクケースのオリフィス穴加工が必要となります。シリンダーヘッドまわりのオイル量を確保する為に必ず行って下さい。
- ◎弊社製旧スペシャルクラッチカバーをご使用の場合、使用出来ません。適合カバーを確認して下さい。
- ◎当説明書は、エンジン単体 (マニュアルクラッチ車) でシリンダーヘッド、シリンダー、ピストンを取り外した状態での作業を記します。エンジンやシリンダーヘッド等の脱着はホンダ純正サービスマニュアル、キット取り付け時は弊社製シリンダーヘッド及びシリンダーキットの取り付け要領を参照し確実に行って下さい。
- ◎製品取付け時、必ず各部品の点検作業を行って下さい。損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行って下さい。

～特 徴～

- モンキー系ノーマルクランクケース専用の大容量オイルポンプ。
- オイルポンプトロコイドギアの厚みは純正 (12V) の約 3 倍、弊社スーパーオイルポンプの約 1.5 倍の仕様となっております。  
 (吐出量は弊社スーパーオイルポンプの約 2 倍)
- オイルポンプボディはアルミ削り出しとしております。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジンおよびマフラーが冷えている時) に行って下さい。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- クランクケースの加工を行う際は、保護メガネ、手袋を着用し目や手を保護した状態で行って下さい。
- オイルポンプボディガスケットは、必ず付属のガスケットを使用して下さい。(異なったガスケットを使用した場合、オイルが循環せずエンジン焼き付き等の原因となる場合があります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。  
 (そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
 但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象なりません。  
 なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

## 製品内容



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	オイルポンプ ASSY.	1	—
2	オイルポンプボディガスケット	1	00-01-0042
3	パンスクリュー 6x16	2	00-00-0207 (4ヶ入り)
4	パンスクリュー 6x30	1	00-00-0448 (4ヶ入り)
5	ドリル 2.2mm	1	07745-086-T00

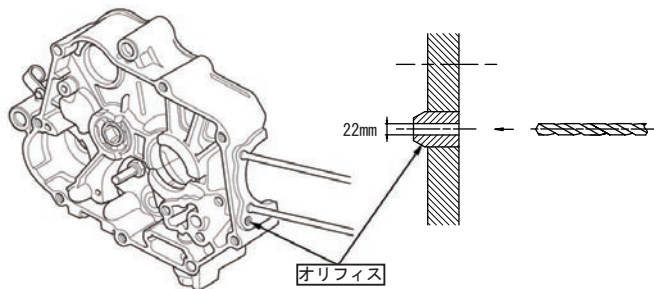
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。  
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。  
 予めご了承下さい。  
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

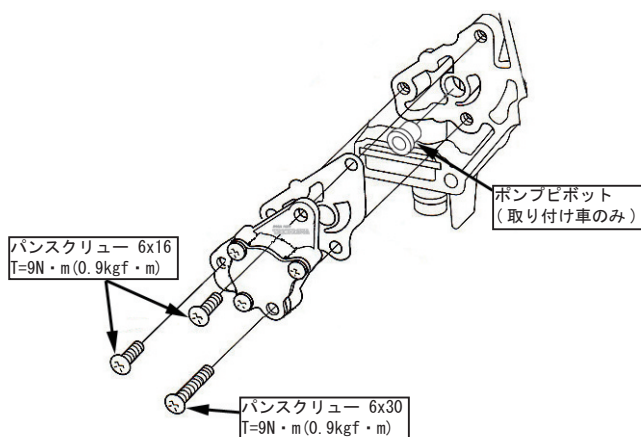
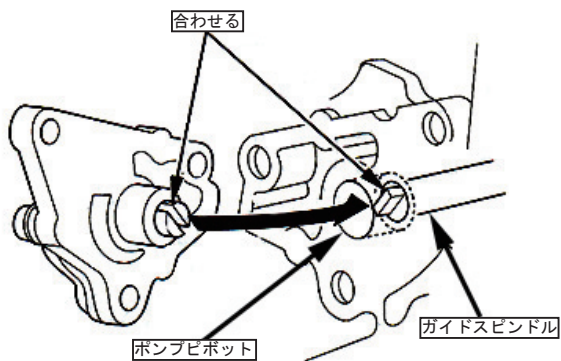
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
 TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>  
 お問い合わせ専用ダイヤル : 0721-25-8857

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

1. エンジンオイルを抜き取り、各クラッチキットの取り付け要領と逆手順で R. クランクケースカバーを取り外します。
2. オイルポンプのスクリー 3 本を緩めてオイルポンプとポンプボディガasketを取り外します。(スクリーが緩みにくい場合は、インパクトドライバの使用をお薦めします。)
3. R. クランクケースのオリフィス穴を付属の 2.2mm のドリル等を使用し拡大します。  
(穴は真っ直ぐにあげ、2.2mm 以上にはしないで下さい。)



4. 切粉等を圧縮空気を吹いて完全に取り除きます。  
※切粉等がエンジン内部に混入すると、エンジントラブルの原因となります。  
切粉等は完全に取り除き、エンジン内部に残らない様にして下さい。
5. スーパーオイルポンプ取り付け面よりローター部分に少量のエンジンオイルを注入します。オイルポンプにガスケットを取り付け、オイルポンプピボットがクランクケースに入っている事を確認して(取り付け車のみ)ポンプシャフトの切り欠きをガイドスピンドルの突起に合わせオイルポンプをクランクケースに取り付けます。スクリー 3 本を規定トルクで締め付けます。


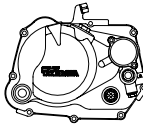
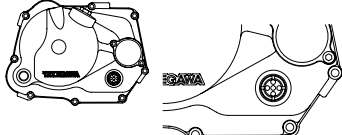
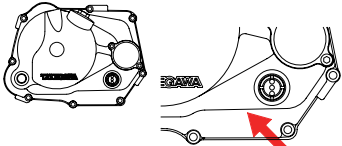
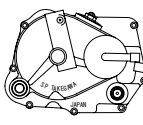



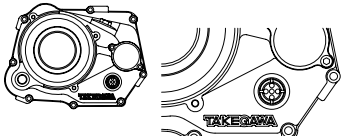
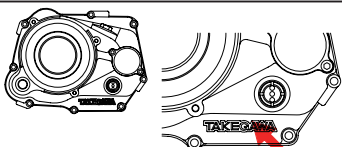
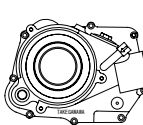
6. 取り外したクラッチ部品を取り外しと逆手順で組み付けます。

▲注意：必ず各クラッチキットの取り付け要領に従う事。

※オイルポンプ取り付け前に必ず再使用する各部品の点検作業を行って下さい。  
カムチェーン、カムチェーンテンショナー、カムチェーンガイドスプロケット、カムチェーンガイドスプロケットスピンドル等、損傷が無いかを確認し、損傷がある場合は必ず新品部品に交換してからご使用ください。

弊社製 R. クランクケースカバーであってもポンプと干渉するタイプがある為、取り付け出来ないものがあります。  
 ご注意下さい。

クラッチカバー種類		取り付け可・不可	備考
湿式	TYPE-R (4型)		○ ・取り付け可能です
	ダイカスト (3型)		○ ・取り付け可能です
	砂型鑄造 2型 (Ver. 2)		○ ・取り付け可能です
	砂型鑄造 2型 (Ver. 1)		× ・オイルポンプと干渉しますので取り付け出来ません ・砂型鑄造2型 (Ver. 2) と比べ、オイルポッド窓周辺の形状に違いがあります
	砂型鑄造 2型		× ・オイルポンプと干渉しますので取り付け出来ません ・オイルフィルター無しのタイプです

クラッチカバー種類		取り付け可・不可	備考
乾式	TYPE-R (4型)		○ ・取り付け可能です
	砂型鑄造 2型 (Ver. 2)		○ ・取り付け可能です
	砂型鑄造 2型 (Ver. 1)		× ・オイルポンプと干渉しますので取り付け出来ません ・砂型鑄造2型 (Ver. 2) と比べ、オイルポッド窓周辺の形状に違いがあります
	砂型鑄造 1型 (Ver. 1)		× ・オイルポンプと干渉しますので取り付け出来ません ・オイルフィルターが前方を向いているタイプです